

新たなるステージが再び

復活

～ほほえみの年輪をかさねて～

しろいしし
 宮城県・白石市

第54回 全日本こけしコンクール

平成24年 5/3(木)4(金)5(土)

とき 午前9時～午後5時
 (3日は審査品の一般見学、10時から)

ところ ホワイトキューブ
 (東北新幹線白石蔵王駅徒歩5分)

同時開催
 地場産品まつり

[主催] 宮城県・白石市・白石商工会議所
 [後援] 経済産業省・農林水産省・国土交通省・文化庁・中小企業庁・他

「第14回写真コンクール」への作品を募集しています！ ※応募は4月25日(水)まで

- アマチュアの方で「こけし」に関するものであればどんな写真でも構いません。作品はコンクール会場に展示されます。
- サイズ……四つ切り(ワイド四つ切り可) カラー・白黒写真、デジカメA4サイズ(組み写真やスライドは不可)
 - 応募規定……未発表のもので一人2点まで。応募用紙を必ず作品ごとに裏側に添付してください。応募用紙は商工観光課や白石駅観光案内所に備え付けているほか、市ホームページからもダウンロードできます。入賞作品の著作権は主催者に帰属し、作品は原則返却しません。返却希望の場合は返送料(切手160円分)を同封してください。
 - 賞……特選1点(賞金・記念品)、準特選2点(賞金・記念品)、入選2点・佳作3点(記念品)
 ※審査結果は4月末に応募者全員にお知らせします。

<写真応募・問い合わせ先>

〒989-0292 白石市大手町1-1 全日本こけしコンクール事務局(白石市役所商工観光課内) ☎22-1321



【5月3日来場者への豪華特典】

- 即売会場・展示会場一番乗りの方各1名に、1尺5寸のこけしをプレゼント!
- 先着100名に記念品をプレゼント!

【こけしの実演販売】

今回は、二部構成になっています。3日・4日は各系統の工人が一堂に会し、こけしの実演・販売を行います。5日は女性工人による実演・販売を行います。

◆系統別実演工人(5月3日・4日)

系統名	工人名	系統名	工人名
津軽系	あほ 正文	鳴子系	おおぬま 秀顕
木地山系	たかはし 雄司	どおかつた 遠刈田系	さとう 良子
ひしおり 肘折系	すずき 征一	やしろ 弥治郎系	おぐら 勝志
たかゆ 蔵王高湯系	うめき 直美	つちゆ 土湯系	たかはし 通
さくなみ 山形作並系	すずき 明		

◆女性工人実演(5月5日)

系統名	工人名	系統名	工人名
蔵王高湯系	うめき 直美	弥治郎系	いのうえ はるみ
遠刈田系	ろくごう 仁美	弥治郎系	にいやま 真由美

【こけしの絵付け体験】

ちびっこだけでなく大人にも大人気。自分だけのオリジナルこけしを作ることができます。



【企業展】

白石市内の企業の製品展示をはじめ、パネルやパンフレットによる企業活動を紹介するコーナーです。ものづくりに対する各社の取り組みなどを通じて、企業の方々と交流できるよい機会です。

【甲冑試着コーナー】

「片倉塾」の皆さんが製作した、ダンボールとは思えない素晴らしい甲冑を試着して、戦国の武将になりきってみませんか? 子ども用もあり、記念撮影もできます。



【地場産品まつり】

白石市や近隣市町などの地場産品を販売します。ぜひご利用ください。



【白石温麺食堂】

白石を代表する郷土の味覚「温麺」。そのおいしさを実感してください。



【無料シャトルタクシー運行】

コンクール会場と白石駅・白石蔵王駅を結ぶジャンボタクシーを運行します。3日は中心市街地で春まつりが開催されているので、両会場を結ぶ便利な足となります。

※都合により、イベントの内容が一部変更になる場合があります。

復活



第54回全日本こけしコンクール
 ～ほほえみの年輪を重ねて～

「全日本こけしコンクール」は半世紀を越えた歴史あるイベントです。昨年は東日本大震災の影響で中止となりましたが、本年は復興への願いを込めて3日間にわたり盛大に開催します。伝統・新型・創作など、ここでしか見られないこけしが全国から一堂に会します。多彩なイベントも用意していますので、お誘い合わせの上、ぜひご来場ください!

5/3(木) 4(金) 5(土)

午前9時～午後5時
 ※3日の審査品一般見学は午前10時～
 ホワイトキューブ

【こけしコンクールを楽しむ方法Q & A】

- Q. こけしは木だけでなく、銅やガラスなどの素材を用いたものも出品可能ですか?
 A. こけしの定義として、ロクロを用いた木製のものとしています。
- Q. 審査品は1部から5部に分けて展示していますが、どう違うのですか?
 A. 1部は、伝統こけし(系統的な伝統性があり師弟関係が明確であるもの)
 2部は、新型こけし(量産可能で市場性のあるもの)
 3部は、創作こけし(一品製作芸術的価値のあるもの)
 4部は、木地玩具(ロクロ技術を主体とした玩具)
 5部は、応用木製品(ロクロ技術を主体とした日常生活用品や木製品)
 この5つの部門に分けて出品し審査を行います。